

Ⅲ章 沿線の新たな交流促進

沿線の新たな交流を促進する取組み

東西線は、アクセス環境の改善や沿線開発の促進などの直接的な効果に加え、各駅周辺の学術文化、歴史、商業、ビジネス、観光などの様々な資源を点から線に連結し、さらには南北線と連携しながら、仙台市全域における文化や産業などの面で新たな価値を生み出していく地域発展の基盤です。

東西線を新たな地域資源としてまちづくりを進めるためには市民主体の取組みから生じる力強い推進力が不可欠です。様々な市民活動が活発に展開されるよう行政が支援しながら、市民、事業者、大学、NPOなどとこれまで以上に連携を深め、沿線の更なる魅力向上や新たな交流促進に取り組んでいきます。

また、地域イベント等でのPRや工事進捗状況の情報提供等に加え、市民との協働による包括的かつ戦略的なPRキャンペーンの展開や、最新技術や様々な媒体をフル活用した情報発信など、「東西線フル活用プラン」を順次展開し、開業に向けた期待感の高揚、沿線居住及び企業誘致を進めていきます。

① 各駅周辺の魅力創出

- 地域に密着した駅ごとの新たな資源や人材の発掘を通して、各駅の顔や売りとなる魅力の創出に取組み、駅と周辺資源を回遊する仕組みを整え、訪れて楽しい、歩いてみたくなるまちづくりを目指します。
- 地域特性を活かしたまちづくりの実現に向けて、住民や企業によるまちづくり協議会等に専門家を派遣する「まちづくり支援専門家派遣制度」などにより、地域主体の取組みを支援して民間活力を活かしたまちづくりを推進します。

② 沿線イベントの推進

- 地域のまちづくり協議会や商店街と連携し、沿線地域の様々な既存のイベント等を東西線とタイアップさせることにより沿線の魅力アップを図り、東西線を活かした新たな交流文化の創出を目指します。
- それぞれ異なる地域特性を持つ沿線の地域間や、沿線以外の地域との交流強化を目的として、イベントや市民による自主的な活動を支援します。

③ 沿線地域の情報発信

- 東西線の整備状況や地域住民、企業による沿線のまちづくりの取組み、新たに発掘した資源や人材など、地域レベルの情報を様々な媒体を介して幅広い年代層に向けて発信することにより、東西線の利用と地域主体の沿線まちづくりを促進します。
- 東西線の開業に向けて、市民の期待感や認知度を効果的に高めるために、各種施策と連携させながら、インターネットや携帯電話等の媒体を活用し、手軽に情報を得られるような東西線のプロモーション展開や東西線の認知度やイメージのアップにつながる情報等を発信します。

④ 駅構内・車内の情報拠点化

- 駅や車内へのモニター設置の検討に加え、地域等が有する情報発信のノウハウ、効果的な媒体、手法等を取り入れながら、沿線の地域情報、イベント情報等の魅力的な情報を発信することや、駅構内・車内アナウンスに工夫を凝らすなど、情報拠点化の仕組みを構築します。

⑤ バス路線の再編及びIC乗車券の活用

- 東西線の開業にあわせ、既存の南北線、JR線を含めた駅を中心として利用しやすい便利な公共交通体系となるよう、バス事業者によるバス路線の再編成を促進します。
- 東西線をはじめ、地下鉄及び路線バスへのIC乗車券導入により、バス・地下鉄などの乗り降りや乗り継ぎをスムーズにするとともに、利用者の利便性に資する新たな運賃施策などの導入について検討を進め、公共交通全体の利用を促進します。

⑥ 沿線の企業及び居住等の立地促進

- 東西線による通勤や集客の利便さを活かし、駅周辺に人が集まりやすいまちづくりに向けて民間事業者や関係団体等からの用途地域変更の提案募集の取組みを進めるなど、企業や集客施設、居住等の立地促進を図ります。
- 復興特区制度や拡充した企業立地助成制度などの支援制度を用いて企業、施設などの誘致を促進し、東西線沿線の就業人口の増加につながる企業集積を進めます。

- 沿線における中古住宅の流通環境整備や資産価値の向上に向けた取組み、敷地の共同化等による低未利用地の有効利用など、駅の利便性を活かした沿線の居住促進に向け、中長期的なまちづくりの観点からの検討を進めます。
- 土地区画整理事業により新市街地の整備が進む荒井駅の周辺では、東部地域の中心となるエリアとして商業・業務施設等の立地を誘導するとともに、子どもから高齢者までが安心して暮らすことができる住宅地の形成を図ります。

東西線で変わる市民の暮らし

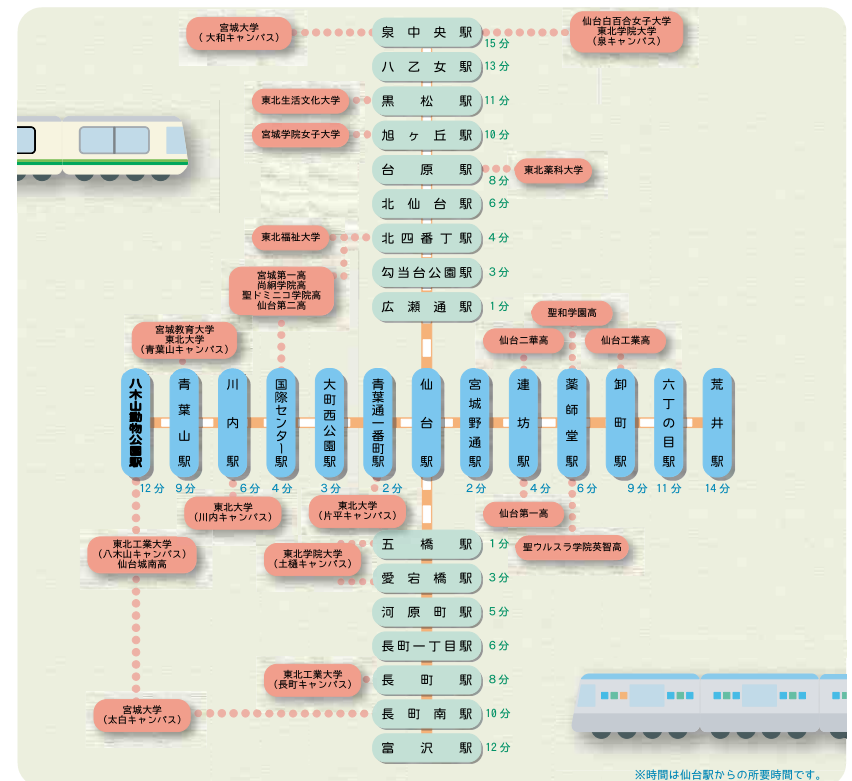
東西線の整備によって、市民の皆さんの暮らしは今よりも便利に快適になり、また安全安心や環境負荷の低減化をもたらし、住みよいまちづくりが進められます。

① 快適な通勤通学

道路の渋滞や天候の影響を受けず、快適な通勤通学が可能となります。東西線の駅周辺には多くの事業所や学校等があり、仙台駅での南北線乗り換えにより、通勤通学の利便性が広がります。

南北線との乗継で市内各所からの通勤通学が大変便利になり、例えば、泉中央～卸町のバスによる移動時間は現在約1時間ですが、東西線を利用すると約30分と半分に短縮します。

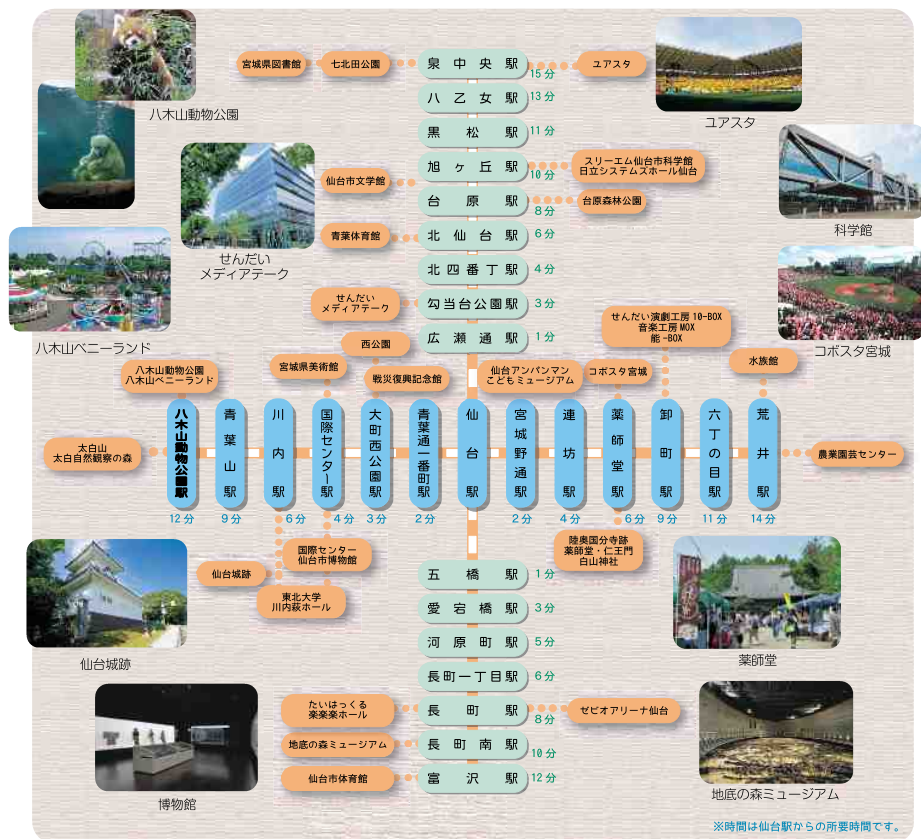
また、地下鉄の定時運行により大雪の日でも遅れる心配がなく、快適に通勤通学ができます。例えば、八木山方面～仙台駅のバスによる移動時間は、通常20～30分のところ、大雪では最大1時間程度の遅れが生じる場合もありますが、東西線では、雨や雪による渋滞もなく12分で移動でき安心です。



② 施設利用の利便性の向上

様々な文化・レクリエーション施設利用のための移動が便利になり、仙台で暮らす楽しさが高まります。沿線には様々な施設があり、また南北線との乗り換えにより広範囲の施設を楽しむことができます。また天候に左右されず確実な時間で動くことができるようになります。

例えば、泉中央から博物館の企画展や八木山動物公園に出かけたり、荒井からユアスタのサッカー観戦へ出かけたり、コボスタ宮城の野球観戦も最寄り駅に近くなるなど、暮らしの幅が広がり、訪れる楽しさは市内全域に広がります。



③ みんなが移動しやすく

高齢者や障害者の方も自動車にたよらず、自ら公共交通を利用していつでもどこでも思いのままに行きたいところに行けるようになり、健康で安全安心な暮らしが実現します。

- ▶ 駅を中心に徒歩で移動しやすい環境をつくり、利用しやすいバス路線に再編することで、自動車を利用しなくても、中心部への買い物や趣味のための移動がしやすくなります。
- ▶ 安全安心な暮らしを支えるエスカレーターやエレベーターなどの施設により乗り換えや移動も便利になります。



車いす対応の改札口イメージ



ホームダイメージ



エスカレーターイメージ



④ 利用する楽しみ

スマートフォン用のアプリの活用や、駅構内や車両内でのモニターによる情報発信等により東西線沿線における見どころ、市内施設へのアクセスルート、沿線地域のイベント情報、季節情報、駅からの自然、歴史資源の散策ルート、スポーツイベントの日程検索など東西線を使って行動する楽しみが広がります。

⑤ 魅力あるイベントが展開

まちが舞台となるすずめ踊りやよさこい(みちのくYOSAKOIまつり)、ジャズフェス(定禅寺ストリートジャズフェスティバルin仙台)やせんくら(仙台クラシックフェスティバル)など、これまでのイベントに加え、「市民応援部」によるアイデアやイベント企画など新たなイベント創出に向けた新たな市民の活動が東西線沿線に展開されることにより、楽しみはさらに広がります。東西線が結ぶこの賑わいが仙台に新しい魅力を生み出します。

⑥ 駅を核とする地域の活性化

東西線の駅周辺での拠点整備により、市民サービスや都市サービスが向上し、駅が地域の核となる個性豊かな地域づくりが進みます。

新たな駅を核とした市民によるまちづくり活動も活発となり、駅舎や周辺施設を利用した地域交流の促進が期待されます。

また、東西線の開通を契機に駅周辺で戸建て住宅や集合住宅など、市民ニーズに対応した住宅整備が進められ、地下鉄をライフステージに取り込んだ新しい生活スタイルが提供されます。

例えば、荒井駅の周辺では、土地区画整理事業による住環境整備が進められており、駅ができることで、駅舎上部に子育て支援施設(保育所)や市民活動交流施設が整備され、新たな都市サービス機能の充実した住みよい暮らしの場が生まれます。

⑦ 国内外との交流促進

国際センター駅周辺では、スポーツセンター跡地に新展示施設を整備するとともに、周辺の青葉山公園整備、仙台商業高校跡地活用や仙台国際センターのエントランス機能を強化するなど、既存の博物館、美術館や東北大学等と併せて、国際観光拠点としての発展が期待されます。仙台城跡を訪れる観光のエントランス機能を担い、内外からの観光客を呼び込むことにより、震災で落ち込んだ交流人口の拡大や市民の文化、芸術などの交流が期待されます。

また、大規模な学術会議や国際コンベンション等の開催により、国内外の人々が集まるようになり、学術及び文化、芸術などの交流の場として世界に発信されます。

⑧ 「杜の都」の環境向上

地球温暖化など深刻化する環境問題に対して、東西線など公共交通利用が低炭素社会の実現に効果的です。「杜の都」の環境にやさしい交通機関である東西線を利用すると自動車の利用に比べて環境への負荷は小さくなります。

自動車から東西線などの公共交通に乗り換えることにより、都市レベルのCO₂削減や温室効果ガスによる地球温暖化の進行を遅らせることができるほか、道路の渋滞緩和や騒音低減など沿道環境も改善されます。

東西線など公共交通の利用を促進することにより、未来に向け私たちの街「杜の都」の魅力が一層向上します。